

伝説・物語 ②

芦屋の七不思議 2

あしや子ども風土記

芦屋に伝わる伝説は、当時の人々が生活のなかで経験した不思議なことや悲しかったこと、うれしかったことなどを、その土地の山や水・塚・人物などに結び付けて伝えられたもので、歴史上の事実ではありませんが、

その時代の背景とともに事実のよう な話となって伝えられたものです。伝説のなかに、語り継がれた昔の人々の願いや物の考え方がよく出て いるので、現在の人々にも共感を呼ぶものと思います。

湯元のお薬師さん

阪急芦屋川駅から水道筋を西へ三百mほど行くと、『芦屋廃寺跡』と刻まれた石文がマンシヨンの前にたっています。

建物の跡が見つからないので「幻の芦屋廃寺」と呼ばれています。江戸時代、この場所に薬師堂が建てられ「お薬師さん」として信仰されてきました。

昔の記録に「塩通山法恩寺(えんつうざんほうおんじ)」のことが書かれています。このあたりに奈良時代の名高いお坊さんで行基(ぎょうき)という人が建てたと伝えられる立派なお寺があったようです。

かつて、薬師堂付近には、「潮見の松」と呼ばれた松の木がありました。昔、このあたりから芦屋沖を見ると、紀州熊野(和歌山県)のあたりから美しい虹のような潮筋が流れてきて、芦屋沖から薬師堂の下に通じ、潮湯が湧き出していたそうです。

これまでに、このあたりの土の中からたくさん古い瓦が見つかっていますが、まだお寺の

下をくぐった潮湯は、さらに有馬の温泉に通じているのだといわれていました。昔から温泉地には、薬師如来(病気を治すという仏像をお祭りするように、有馬温泉にも薬師仏をお祭りしています。だから有馬の温泉寺のお坊さんは、芦屋のお薬師さんを「有馬温泉の奥の院(神様の魂を安置するところ)」と考えて、毎月山を越えて芦屋の薬師堂にお参りしていました。

塩通山の呼び名も、このことによりです。

★ノート 奈良の二月堂のお水取りの行事に、若狭(福井県)から地下をくぐってきた水を取るといふ伝説に似る。

★参考文献 『撰陽群談』有馬潮「兵庫名所記」宝永七年(一七一〇)湯元の薬師『撰津名所図会』湯元薬師堂



東芦屋町薬師寺にあるいしぶみ

七右衛門ぐらのたたたり

六甲山は、「伝説の六甲」と言われるほど、人々の豊かな自然の幸に恵まれ、昔から多くの生活の足跡を残してきました。

六甲の山の神様は、白山権現(はくさんごんげん)で、昔から石宝殿(いしのほうでん)に祭られています。が、いつもは城山の裏山にあたる荒地山に来て、山をお守りしていると言われています。だから

人々は春や秋の田畑の作物の取り入れにあたっては、感謝の気持ちで折り、山の神は人の命に深く関わっていると信じていました。



もしも、六甲山で悪いことをすると、不思議なことに荒地山(あれちやま)に迷い込んで出られなくなるという、それは権現様のお怒りであると恐れられていました。

昔、城山のふもとに七右衛門という若者が住んでいました。両親や兄弟もなく、貧しい暮らしをしていましたが、正直でよく働き、村人からも愛されていました。しかし、誰にもいえないさびしい気持ちがありました。

そのころ、ただ一人年上の親しい友達がいって、心の支えになってくれました。ところが、些細なことから仲の良かった友達にも裏切られ、深い悲しみに落ち入ってしまった。その時から毎日のように、夜になると居酒屋に入りし、酒や賭博で身をもち崩し、村人の信頼も失うようになっていました。

山道で、有馬へ通う行商人たちを襲い、金や品物を奪い取りました。そして、その日から七右衛門の姿は村のふもとで見られなくなりました。行商人から事情を聞いた村人たちは、権現様のお怒りに触れたのじゃ」といって、数人の若者が荒地山へ登って見ますと、岩ばかりの山の中で、七右衛門は頭を砕かれて死んでいました。村人たちは、あらためて権現様の怒りを恐れ、この岩場を「七右衛門ぐら」と呼ぶようになってきました。

今では岩登りで知られたロックガーデンの「岩梯子(いわばしご)」と呼ばれているあたりです。



現在の岩梯子

★ノート 昔から農民にとつて山の神は、春に山から里に下って田の神となり、秋の収穫がすすむと、また山に帰って山の神になると信じられていた。芦屋の村でも山の神をお祭りし、定められた月日にお供えをして行事をした。

★参考文献 『六甲』

●平成五年に発行した「あしや 子ども風土記 伝記・物語」を紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。

武庫川女子大学 オープンカレッジ



▶ 受付開始日
4月6日(月)から電話で受講申し込み開始

講座によってお申し込み日が変わります。お届けする講座案内でお確かめください。

▶ 受講資格

男女年齢を問いません。勉強意欲があれば、どなたでも会員になれます。

▶ 会員特典

本学の中央図書館が利用できます。(利用カード発行手数料が必要です) 特別学期期間中(1月~2月)大学の正規の講義を学生とともに無料で受講できます。

平成21年度春学期のご案内 (4月20日より随時開講)

【広告】

▶ 開講講座

小筆で源氏物語/万葉集/源氏物語/近松門左衛門俳句/日本語講座/聖書/座禅/心理学/女声合唱アリアを歌う/水彩画/パステル画/淡彩画/デッサン 英語文化/英語/中国語/食文化/ジャイロキネシス 太極拳...等

多彩な計37講座

4~10回授業 各8,000円~36,000円(別途会員登録料3年:3,000円)

講座内容はHPでもご覧いただけます。 URL <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~opencoll/>

●随時資料請求・お問い合わせ受け付けます。 TEL.0798-67-1450 (ただし3/20~4/1除く) 月~金 10:00~16:00 土・日・祝日は受け付けておりません。